

セルロース素材を活用した環境対応型繊維製品の開発

1. 事業の概要

岡山県は、ジーンズ等のセルロース素材を活用した繊維産業が盛んな地域です。繊維製品の多くはカラフルに染められ、多様なデザインで製造販売されています。しかしながら、繊維の染色加工工程では、多くの水と特殊な薬剤が必要となるため、その排水処理が環境負荷の一因となっています。

工業技術センターでは、環境負荷の低い産業社会の構築を目的として、繊維製品の製造にともなう環境負荷の低減と、製品価値を高める加工技術の開発に取り組んでいます。

2. 平成26年度実績

インテリア用途として家具等に使用されているアバカ(マニラ麻)は、現在、塗装によって着色しています。アバカ表面に上塗りしているため、輸送時や設置時に色が剥げ、商品価値を大きく損ねていました。

工業技術センターは企業と共同で、染料をアバカに浸透させるための前処理として環境への影響が少ない加工技術を開発し、染色糸を試作しました。染料がアバカに浸透していることから、色の剥げに由来した「製造時の不良品削減(産業廃棄物削減)に寄与」することが期待されます。



試作したアバカ染色糸



アバカ製品

担当部署

工業技術センター